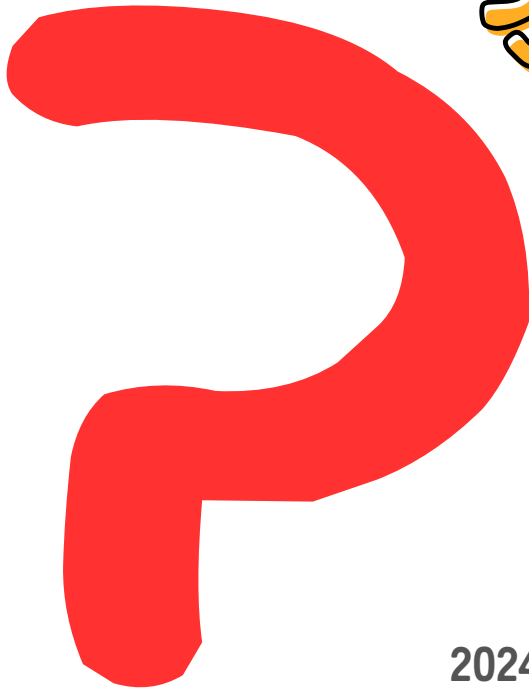


先着
受付中！
おはやめに！

子育て中の ママパパ哲学カレッジ



当たり前前の毎日からちょっと離れて、
当たり前前だと思っていることを、みんなで考えてみませんか？

2024年

5月12日(日)

10:00～12:00

場 所：武蔵野プレイス フォーラムA

対 象：子育て中の方

※お子様を連れてご参加できません。

【託児】要事前申込。3か月～未就学

定 員：20名

※定員を超えた場合、市内在住・在勤・在学を優先して抽選。

在勤・在学の場合、申込時に備考欄にご入力ください。

参加料：1,000円

申 込：イン

武蔵野

生涯

申込方法など、

託児の受付は終了しました。

電話（0422-30-1901）もしくは、
武蔵野プレイス3階
生涯学習支援窓口で先着で受付中です！



講師：生井亮司
武蔵野大学教育学部
幼児教育学科教授



子育て中の ママパパ 哲学カフェ

昨年につき2回目となる本講座では、哲学カフェ、哲学対話って何？ちょっと気になるな、という方を対象に哲学対話の歴史や意義をお話するとともに家族や子どもと哲学対話をする際の方法やポイントを解説しながら実際に哲学対話を行います。

哲学カフェは、哲学者の難解な思想について考えることではなく、日常の素朴な疑問について、「そもそも、なんでだろう」と問い直すような場所です。しかし、実はそうした当たり前と知っていることを問い直すことこそが本当に「哲学する」ということです。いまの生活は忙しく、気づくと過ぎ去ってしまいがちです。それはそれで、仕方のないことだったりもするのですが、たまには日常、つまり当たりの前の毎日からちょっと離れてみて、当たり前だと思っていることをみんなで考えてみませんか。

もしかすると、当たりの前の日常が少しだけ違って見えたり、自己や他者そして世界の優しさに気づけるかもしれません。

講師：生井 亮司（武蔵野大学教育学部幼児教育学科教授）

東京芸術大学教育研究助手を経て現職。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士（美術）。専門は芸術教育、教育哲学、彫刻制作。近年は京都学派の表現論をもとに美術制作が人間の存在にとってどのような意味をもつかということや国際的な美術教育の潮流ともなっているArt-based Researchの概念を基に、芸術的な知性とは何かということについての研究を行なっている。また社会実装としての哲学対話の実践を様々な場所で行なっている。



申込方法

締切 4月16日（火）

インタ

▶

※イ

W



電話（0422-30-1901）もしくは、
武蔵野プレイス3階 生涯学習支援窓口で
先着で受付中です！

窓口

武蔵野プレイス3階 生涯学習支援窓口へ

お申込み時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

主催



公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう
武蔵野文化生涯学習事業団

お問合せ



ひと・まち・情報 創造館
武蔵野プレイス

武蔵野プレイス
生涯学習支援係

0422-30-1901